

令和 5 年度第 3 回成田市環境審議会

【令和 5 年 11 月 2 日（木）】

環境審議会委員からの意見及び回答

成田市環境部

番号	委員名	資料名
1	中山 明子 委員	2022(令和 4)年度成田市役所エコオフィスをアクション (第 4 次成田市環境保全率先実行計画) 結果
該当頁	第 1 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>目標の基準年が 2016 (H28) 年度になっていますが、県は 2013 年度が基準年になっています。なぜ 2016 年度を成田市は基準年にしているのでしょうか。</p>		
<p>【回答】</p> <p>成田市役所エコオフィスをアクション (第 4 次成田市環境保全率先実行計画) は平成 29 年度に策定したもので、策定した年度の前の年度 (平成 28 年度) を基準としております。今回お示ししておりますのはこの第 4 次計画の結果ですので、基準を平成 28 年度としております。</p> <p>なお、現行のエコオフィスをアクション (第 5 次計画) の基準年度は、パリ協定に基づき我が国が国連に提出した文書 (NDC: 国が決定する貢献) に合わせ、2013 (平成 25) 年度としています。</p>		

番号	委員名	資料名
2	中山 明子 委員	2022(令和 4)年度成田市役所エコオフィスアクション (第 4 次成田市環境保全率先実行計画) 結果
該当頁	第 1 頁	
<p>【意見・質問】</p> <p>温室効果ガスの排出量は大きく削減できているようですね。成田市と同じ規模の他の市では、どのような状況なのでしょう。また千葉県内の行政の平均値との比較を知りたいです。</p>		
<p>【回答】</p> <p>成田市と人口が同程度の市としては我孫子市と木更津市が挙げられます。両市の状況は別添資料の通りです。なお、この資料は環境省のホームページに掲載されているデータから抜粋してまとめたものです。</p> <p>なお、各市町村ごとに人口、面積、産業、所有している施設の配置や数などが異なるほか、計画の基準とする年度、目標を設定している範囲（例えば一般廃棄物の処理や水道事業を独自に行っているか否か）や排出量の算定方針（例えば電力の排出係数を固定するか否か）などが異なるため、資料に示された市町村ごとの排出量や削減割合は単純に比較することはできないものとなっております。このようなことから「行政の平均値」として適切な値を計算することは難しいですが、資料から各自治体の状況はある程度伺えるものと思います。</p>		

番号	委員名	資料名
3	中山 明子 委員	2022(令和 4)年度成田市役所エコオフィスアクション (第 4 次成田市環境保全率先実行計画) 結果
該当頁		
<p>【意見・質問】</p> <p>成田市役所の CO2 削減はよい結果が出ていると思いますが、成田市全体を考えると開発のための森林伐採が進んだり、そのあとの建築物をつくるための材料の運搬・工事で多大な CO2 が発生していると思われます。エコオフィスアクションは大切ですが、成田市全体のエコアクションが CO2 の大きな削減につながるようになってほしいと考えます。</p>		
<p>【回答】</p> <p>市域における CO2 排出量につきましては、本市では成田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基く取り組みとして成田市緑化推進指導要綱に基づく指導や森林環境譲与税を活用した森林整備等、太陽光発電設備などの住宅用省エネルギー設備設置への補助などを実施しております。ゼロカーボンシティの実現に向けては、市役所だけでなく、市民・事業者もそれぞれ主体性を持ちながら協働で取り組んでいく必要があると考えており、現在の取り組みを継続するとともに、再生可能エネルギーの導入や省エネルギーをはじめとして、本市の実情に合ったさらなる取り組みを検討してまいります。</p>		